

NASVAプレスリリース

平成30年11月 8日

独立行政法人 自動車事故対策機構
安全指導部 高橋、舟木、山下
電話 03(5608)7610

「第13回NASVA安全マネジメントセミナー」開催報告

～10月16日東京国際フォーラムに1,088名の方々にご来場いただきました～



NASVA（独立行政法人自動車事故対策機構 理事長 濱隆司）は、平成30年10月16日(火)に東京国際フォーラムにおいて、国土交通省の後援、公益社団法人日本バス協会、公益社団法人全日本トラック協会及び一般社団法人全国ハイヤー・タクシ一連合会の協賛により『第13回NASVA安全マネジメントセミナー』を開催し、おかげさまで1,088名の方々にご来場いただきました。

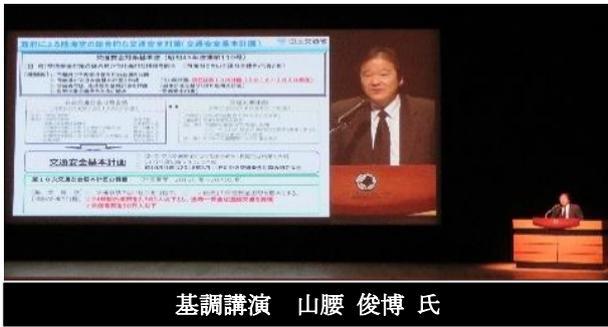


来賓挨拶
国土交通省 奥田自動車局長

本セミナーは、今年で13回目を迎え、運輸安全マネジメントにすでに取り組みされている事業者の皆様には有益な情報（復習を含めた継続的なレベルアップ）を、これから取り組もうとする事業者の皆様には気付き（ヒント）を提供し、安全文化の醸成と定着を図ることにより、利用者にとって安心で安全な運輸事業を提供するための機会としていただくため開催いたしました。

まずは、主催者挨拶に続いて、本セミナーをご後援いただいた国土交通省の奥田哲也自動車局長にご挨拶をいただいた後、基調講演として、初めに国土交通省自動車局安全政策課長 山腰俊博 氏より、『事業用自動車の安全対策について』をテーマとして、政府の交通安全対策と交通事故の発生状況、睡眠不足や健康状態に起因する事故の防止、「指導監督告示」、「指導監督マニュアル」の改正等についてご講演いただきました。

続けて、国土交通省大臣官房運輸安全監理官 日笠弥三郎 氏より、『運輸安全マネジメント制度及び運輸審議会答申を踏まえた取組』をテーマとして、運輸安全マネジメント制度の概要と課題、運輸審議会答申を踏まえた貸切バス事業者の安全性向上に係る重点的な措置、自動車輸送分野の取組を促進する方策等についてご講演頂きました。



基調講演 山腰 俊博 氏



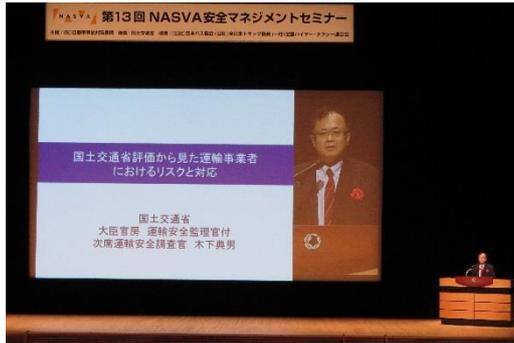
基調講演 日笠 弥三郎 氏

特別講演では、弁護士・運輸安全委員会委員・関西大学社会安全学部准教授 岡本満喜子 氏より、『ヒューマンエラー防止に向けた取組～安全文化醸成の視点から～』をテーマとして、安全文化の要素、組織事故発生メカニズム、ヒューマンエラーの本質と対策立案時の留意点等についてご講演いただきました。



特別講演 岡本 満喜子 氏

また、国土交通省大臣官房運輸安全監理官付次席運輸安全調査官 木下典男 氏より、『国土交通省評価から見た運輸事業者におけるリスクと対応』をテーマとして、特積トラック事業者や地方バス事業者を例に挙げ、人間特性や人材不足といった運送事業者に内在するリスクへの対応、体験・体感を重視した教育訓練の重要性等についてご講演いただきました。



木下 典男 氏

取組事例報告では、寝屋川バス株式会社代表取締役社長 田嶋仁一 氏より、『新任乗務員の養成と研修体制の充実化について』をテーマとして、自社における人材確保のための工夫点や初任教育資料の体系化を始めとする人材育成、乗務員満足度に着目した働きやすい職場環境作り等、輸送の安全性向上に関し、自社を構成する「ヒト」に着目した具体的な取組状況をご報告いただきました。



取組事例報告 田嶋 仁一 氏

最後に、新潟運輸株式会社代表取締役会長 佐藤朋弥 氏より、『「安全が全てに優先する」を合言葉に！！～「自動車事故防止のための実践14項目とABC運動の推進」～』をテーマに、「当たり前のこと＝A」、「バカにしないで＝B」、「ちゃんとやる＝C」(ABC運動)が安全文化の醸成に繋がるとし、社員一人ひとりが遵守すべき実践14項目



取組事例報告 佐藤 朋弥 氏

の制定・実践、ヒヤリ・ハットデータの収集・分析結果の視覚的アプローチによる展開・共有、乗務員の理解・納得感に配慮した添乗・ドラレコ指導等を通じ、着実な事故の減件に繋がった事例とともに、安全管理体制におけるPDCAサイクルの効果的運用の重要

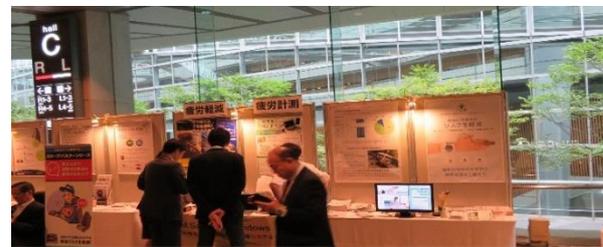
性について伝えていただきました。

ロビーでは、安全対策に取り組まれている事業者様に一層の安全意識を高めていただくため、交通事故被害者等の生命の重みを伝える「ミニ・生命（いのち）のメッセージ展」を開催しました。



ミニ・生命（いのち）のメッセージ展

また、安全マネジメント支援ツール（デジタル式運行記録計、映像記録型ドライブレコーダー、アルコール検知器、SAS（睡眠時無呼吸症候群）スクリーニング検査機器等）の展示・紹介を行いました。



支援ツール機器メーカー等による展示・紹介

さらに、NASVAにおける被害者援護業務の一環として行っている、交通遺児友の会の書道コンテスト入賞作品や重度後遺障害者の方々による創作作品等の展示を通じて、自動車事故で保護者を亡くし、あるいは車いすでの生活を余儀なくされた方々が、様々な活動を通して前進されている現状を知っていただきました。



また、自動車アセスメント業務の紹介として、自動車安全性能評価におけるパネル展示及びパンフレットを配布いたしました。自動車アセスメント業務は事故データの分析結果に基づき、自動車事故被害者が多い事故形態を評価項目として選定するとともに、事故被害削減効果の高い自動車等に高評価を与えることにより、自動車メーカーに対してはより安全な自動車製造の促進、ユーザーに対しては、安全性による購買判断の意識喚起のため、様々な機会を捉え、周知を図っております。



なお、NASVAでは、「国土交通省認定セミナー（安全マネジメント関係講習会）」を全国50支所において引き続き開催し、運送事業者の皆様へ安全に関する有益な情報を継続的に提供してまいります。併せて、「講師派遣」、「安全マネジメントコンサルティング」、「運輸安全マネジメント評価」等を通じて、運送事業者の皆様の安全性向上を支援させていただきます。

以 上